

具志川運動公園管理棟建設工事

(機械)

完成図

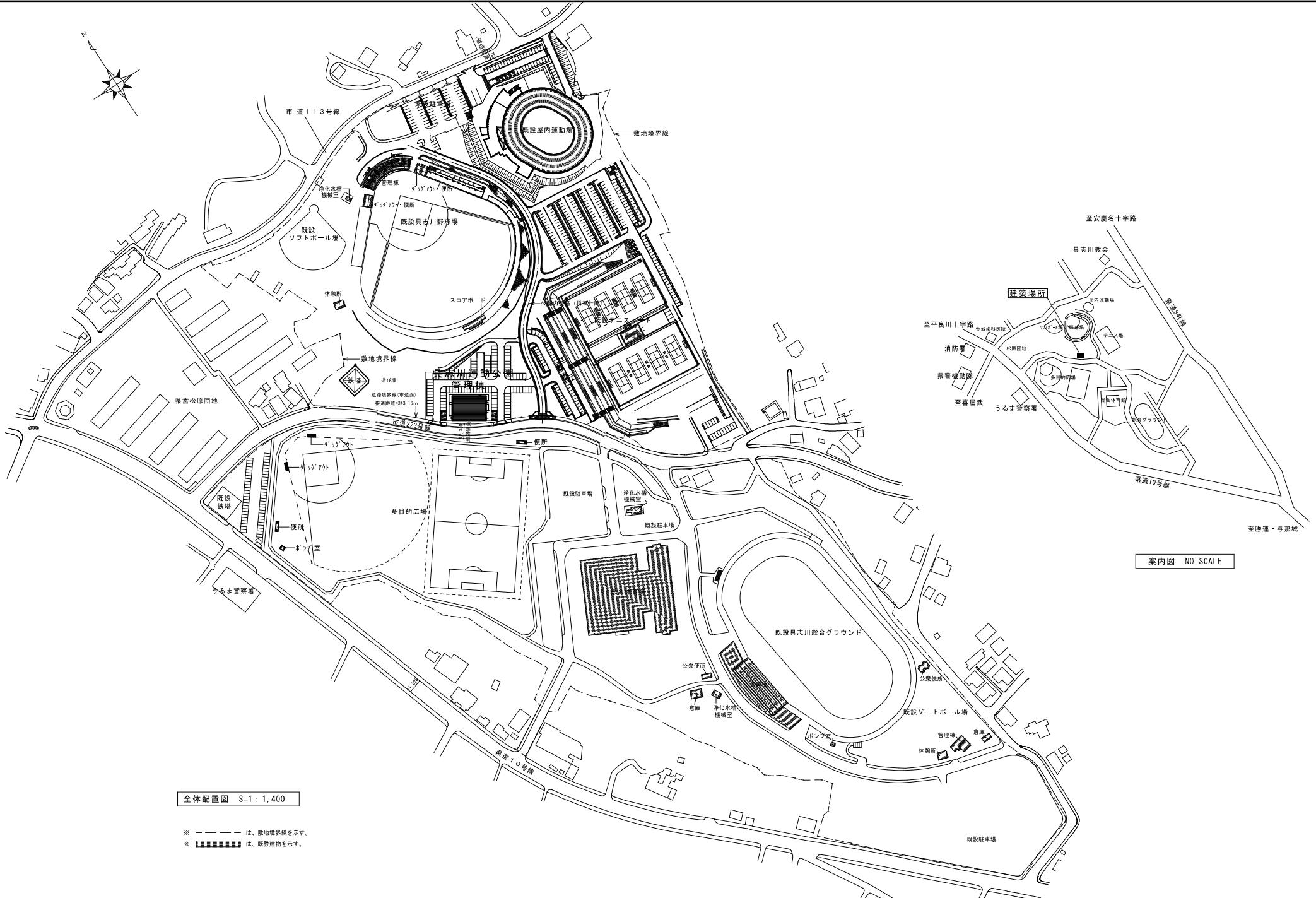
平成21年度

有限会社 沖水

具志川運動公園管理棟建設工事(機械)

図面目録

図面番号	図面名称	縮尺
M-01	全体配置・案内図	S=1:1400
M-02	特記仕様書(機械設備)その1	NO SCALE
M-03	特記仕様書(機械設備)その2	NO SCALE
M-04	凡例・冷房換気機器・衛生器具表	NO SCALE
M-05	敷地配置図・断面図	S=1:200
M-06	1階 冷房換気平面図	A1 S=1:50 A3 S=1:100
M-07	屋外給排水設備平面図	A1 S=1:300 A3 S=1:600
M-08	1階 給排水設備平面図	A1 S=1:50 A3 S=1:100
M-09	屋根 排水設備平面図	A1 S=1:50 A3 S=1:100



備考

施工 沖縄うるま市宇赤道60-1番地	工事名 具志川運動公園管理棟建設工事(機械)	図面名 全体配置・案内図	縮尺 S=1:1400	工事年度 平成21年度
有限会社 沖水 TEL (0986) 911-3766 FAX (0986) 974-5557	工事場所 うるま市宇太田514番地	設計年月日 21年 11月 30日	承認	接図 担当 製図 図面番号 M-01

9. 定風量ユニット 変風量ユニット	・エカニカルタイプ ・風速センサータイプ ・吸式 ・バイバース式																				
ダンパー類の寸法は、接続されるダクトの寸法と同じとする。																					
○ 配管材 純 12. 井	下記に示す。(1)による。ただし単手側のものを除く。 (1) 井のJISの呼び径は〔-5K - 10K〕とする。 (2) 井の呼び径は、接続される管の呼び径と同じとする。 (3) 井付部の仕様は、(1)と同様である。 空気調節回路の各部の仕様は下記の通りに取り扱うこと。 1) 空気調節回路の各部の仕様は下記の通りに取り扱うこと。 2) その上部計器室の配管の仕様は下記の通り。 コック付とし、取り付け位置は機種仕様によるほか、図示によるものとし、方式は(オリフィスブレード式 ・パイロット式)とする。																				
13. 温 度 計	1) 保溫材 (1) ダクト (・ロックウール・グラスウール・ボリスチレンフォーム)とする。 (2) 水冷・油温水槽 (・ロックウール・グラスウール・ボリスチレンフォーム)とする。 (3) ドレン管 (・ロックウール・グラスウール・ボリスチレンフォーム)とする。 (4) 热水管 (・ロックウール・グラスウール)とする。																				
14. 間 間 流 量 計	2) 保溫材は標準仕様第2表3. 1. 4によるほか、下記による。 (1) ダクト [屋内露点 (屋内・露下)] ・直鉄板・カラーリアルミウム板・アルミニウム板・ステンレス鋼板 (2) ダクト [屋内露点 (屋上・屋根・壁面・機械室・共同構)] ・直鉄板・カラーリアルミウム板・アルミニウム板・ステンレス鋼板 (3) ダクト [屋外露出など] ・直鉄板・カラーリアルミウム板・アルミニウム板・ステンレス鋼板 (4) 管路 [屋内・屋外] (直鉄板・カラーリアルミウム板・アルミニウム板・ステンレス鋼板) (5) 保溫材 [屋外露出など] ・保溫化前ヒース (スリムダクト)・カラー直鉄板 ・アルミニウム板 (ステンレス鋼板)																				
○ 保 湿	3) 標準仕様第2表 表2. 3. 7中の種別3 (冷水管のみ) の保溫材の 厚さを、下表に読み替える。																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び径</th> <th>15~50</th> <th>65~300</th> <th>参考 使 用 区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・イ</td> <td>4.0</td> <td>5.0</td> <td>ロックウール</td> </tr> <tr> <td>3・ロ</td> <td>4.0</td> <td>5.0</td> <td>グラスウール</td> </tr> <tr> <td>・ハ</td> <td>4.0</td> <td>5.0</td> <td>ボリスチレンフォーム</td> </tr> <tr> <td>冷水管</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	呼び径	15~50	65~300	参考 使 用 区 分	・イ	4.0	5.0	ロックウール	3・ロ	4.0	5.0	グラスウール	・ハ	4.0	5.0	ボリスチレンフォーム	冷水管			
呼び径	15~50	65~300	参考 使 用 区 分																		
・イ	4.0	5.0	ロックウール																		
3・ロ	4.0	5.0	グラスウール																		
・ハ	4.0	5.0	ボリスチレンフォーム																		
冷水管																					
4) 冷水管の保温に保冷シランゴム、保温材を使用する場合の施工順序は下記によるものとし、ボリスチレンフォーム保溫材は、その合わせ面の全てを接着剤で貼る。貼る順序は、(一段階層、露下)。 (1) 屋内露点 (一段階層、露下) 1. 保溫材 (2) 屋内露点 (屋上、屋根、機械室、共同構) 1. 保溫材 2. アルミガラスクリス (3) 屋外露点 1. 保溫材 2. アルミガラスクリス (4) 露下 1. 保溫材 2. 捕水網 3. 防腐布 4. アフタートラップマニホールド (5) 屋外露点 1. 保溫材 2. ポリエチレンフィルム 3. 外装材																					
5) 空気調節管の保温は、不処理とする。ただし、冷水管などの分岐点より500mmまでの部分は、当該管の保溫種別による保温を設ける。																					
6) 給排水管の保温 (熱水を含む) の場合は当該管の保温種別による保温を行う。																					
7) 断熱装置 (断熱水栓) の保温は不要とする。																					
8) 排溝・排水溝 (排水栓) の保温は不要とする。																					
9) リモコン音響機器2種、表2. 3. 2の(1)の(2)の(3)に)にかかるわざ。直接外気で換気されている部屋を通過する選りダクトの保溫を施す。なお、保温種別は表2. 3. 2の一般ダクトの項による。																					
9) ユニット形空調装置と、ファンコイルユニット、パッケージ形空気調和機の保温材の保温は、標準仕様第2表3. 1. 5の各水管の項による。																					
○ 採計 温湿度条件	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">外 気</th> <th colspan="2">室 内</th> </tr> <tr> <th>一 段 系 統</th> <th>二 段 系 統</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度 (D, B)</td> <td>温度 (RH)</td> <td>温度 (D, B) 湿度 (RH)</td> </tr> <tr> <td>夏季 3.2, 1 °C</td> <td>7.2 %</td> <td>26 °C 50 %</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	外 気	室 内		一 段 系 統	二 段 系 統	温度 (D, B)	温度 (RH)	温度 (D, B) 湿度 (RH)	夏季 3.2, 1 °C	7.2 %	26 °C 50 %	冬季	℃	%						
外 気	室 内																				
	一 段 系 統	二 段 系 統																			
温度 (D, B)	温度 (RH)	温度 (D, B) 湿度 (RH)																			
夏季 3.2, 1 °C	7.2 %	26 °C 50 %																			
冬季	℃	%																			

◎換気設備	①.ダクト工法	1) 短形ダクト。 →アンダル工法とする。 ・コンベアボト工法(「共槽工法・スライド工法」とする。ただし、共槽の長さが1500mmを超えるダクトは、アンダル工法でダクトする。)
	②.ダクトの種別	2) 円形ダクトは、スパイラルダクトとする。
③.送気フード	※高圧ダクト・高圧1ダクト・高圧2ダクト	1) 排気ダクトは、ステンレス鋼製とし、板厚は1.0mm以上とする。 2) 排気フードに取り付けする照 明器具は、別途とする。 3) フード部の取付部は、ガス管等の配管部は、防爆及び防油の仕様を有し照 明器具を容易に取り付け。取り外しが可能な構造のものとする。 チャンバー、吹出口、吸込口の材質、防爆ダンパー、たわみ離手、ダンパーの大きさについては「冷蔵設備取扱説明書」の当該事項による。
4.排煙設備	1.ダクトの種別	※重鉄板製 ・耐振板
	2.連通口開設装置	吹出助及び遮断操作可能なもの・手動
	3.排煙量測定	建築設備定期検査業務指導書(日本建築設備安全センター)の排煙量の検査方法に準ずる。
5.自動	1.中央空調制御	・有・無
	2.中央警報制御装置の機能	() 因による。

制 御 設 備 	<p>3. 計装工事の記録</p> <p>使用する配線はM電線とし、規格化標準仕様第4編表4-2、4-2の使用的な電線規格の規格による。(接替、差別は除く) 端子露出の配線は、図面に記載のない限り全管配線とする。 又内筋かいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p>
◎ 衛 生 	<p>◎、衛 生 器 具 の 色 ◎、身 体 部 用 便 器 ◎、小 便 器 用 洗 手 槽</p> <p>衛生器具の色は「白・◎藍自戦車の表示による。」とする。 ロータンガ方式の場合は朝鮮上部給水形とし、レバーは長柄レバーとする。 小便器の洗浄方式は下記による。</p>

- 、自 動 水 洗
 - ◎選択送信方法 (自動)
 - フランジバルブ (自動)
 - 電源供給方式 (AC100V...乾電池...自己発電方式)
- 5、小便器自動洗浄装置

6. 和風大便器取扱い	・放ける（ビット内は除く） ・放げない
⑦ 緑水栓 ⑧ 重水栓	漏水室、浴室、厨房内は湯沸水栓とする。 漏水室は、計画水道に定める認定合規品とする。 ① 袋メーター（※販貸水・賃貸り）とする。 ② チューメーター（※販貸水・※賃貸り）とする。

3. 水 管 例 深谷市販業者指定品・(販賣數) 備考図C
 ○記 材 枝 () 例記入用記入欄に記入し、下記の欄には記入されましたが除外。
 ○外 () 例記入用記入欄に記入し、下記の欄には記入されましたが除外。
 1) 井の上Sの呼び立ては下記のとおり。
 (1) 水道直通部分 ○10K () とする。
 (2) 水道直通部分 ○10K () とする。
 2) 井の上呼び立ては、接続される管の呼び立てと同じとする。

作成：沖縄県土木建築部

○、水道引込負担金	※要 ○不要	
○、保溫材	※保溫は、全て不要とする。 ・保溫・標準仕様書第2編3、1、5の施工箇所のうち、(地盤・屋内露出し・天井内 ・バイシャフト内・)とし、その他の箇所は不要とする。	
○、地中埋設機	1) 築装部分は、(コンクリート製・鉄製)とする。 2) その他の部分は、(コンクリート製・鉄製)とする。 ○別途候針 → 集中候針	
○、候計方式		
⑥ 排水設備	別表一-3による。ただし、図示されたものを除く。 逆流器及び手洗い器に接続する排水管の呼び径は、器具トラップより1サイズ大きいものとする。 公園洗浄池など床上部構造部分の配管時は本工事とし、その配管材料は接続される管の材質の如何にかかわ らず標準仕様書二部表(VTP)としよ。	
○、配管材持	標準仕様書第2編2、4、8(1)による箇所のほか図示する箇所に取り付ける。	
2、洗面器等		
3、流し等の排水管		
4、溝、水試験機手		
5、放流水附付等		
6、試驗		
7、保溫	衛生器具類の取付け完了後に実行する試験は(※通水試験・座試験)とする。 ・保溫は必ず不要とする。 ・保温(空調器具の場合は除く)は、標準仕様書第2編3、1、5の施工箇所のうち ・(地盤・屋内露出し・天井内・バイシャフト内・) とし、その他の箇所は不要とする。	
⑦ 給湯設備	別表一-3による。ただし、図示されたものを除く。 下記による。ただし、図示されたものを除く。 1) 弁のJIS規格呼び径は、(1.5K ～ 1.0K)とする。 2) 弁類の呼び径は、接続される管の呼び径と同じとする。 保溫材は、(ロックウール・グラスウール)とする。	
○、配管材料		
2、弁類		
3、保溫材		
⑧ 消火設備	別表一-3による。ただし、図示されたものを除く。 下記による。ただし、図示されたものを除く。 1) 弁のJIS規格呼び径は、(1.0K ～ 2.0K)とする。 2) 弁類の呼び径は、接続される管の呼び径と同じとする。	
3、屋内消火栓箱	・HB-1A ・HB-1B ・HB-2A ・HB-2B ・HB-4A ・HB-4B ・HB-1AS	
○、消火器具	○粉末 (ABC-C-6) 、泡 () 標準図(被葉物導入部の変位吸収配管要素)の(・(A)・(B)・(C))による。	
11 建設用備	表示された寸法を基準寸法とする。 ・製造者の標準形とする。・国示による。	
1、機器の寸法	平行に使用するボルト、ナットはステンレス鋼製とする。	
2、耐削性、操作性		
3、ボルト、ナット		
⑨ ガス設備	別表一-3による。ただし、図示されたものを除く。 別途(-50kg) × 本 標準図(液化石油ガス容器軽倒防止装置)による 本組 標準図(液化石油ガス容器軽倒防止装置)の(・(A)・(B))による。 ガスマスターは、計算式に基づく既定対象のものは既定合併品とし、候定対象以外のものはガス業者名の承認したものとする。 ガスマスターは、(合算資本・貲取り)・ギアマスター(・合資品・譲渡収)	
○、配管材持		
3、充てん材持		
3、集合管座		
4、軽倒防護等		
○、ガスメーター		
6、ガス燃費監視器		
7、ガス遮断装置		
○、引込負担会社等		
○、電気気食		
13	1、処理種別	・合併処理(・接触ばっき方式・長時間ばっき方式) ・()

設 水 理 機 器	2. 形 式 表	・小規模な併用技術、・分権管理を行う方式、・従業員が直接操作は(き方)式
3. 測 定 表	・ユニット型、・現場施工形	一定期間経過後、放流水質性能値を記入した測定表を提出する。
1. 保 水 材		水槽等は、配管、ダクト等より分離する。
2. 支 托 物 等		ダクト及び配管等の支持物、ホリポルト等は本工事にて撤去する。
3. 冷 液	(フロン系の回路)	1) 既存の抜き取りは、フロンは放逐処法に基づき終された第1種フロン類回収業者により行う。 2) 冷却の抜き取りは、高圧ガス保安法施行令規則公示(平成元年3月24日通商産業省告示139号)の規定するオフガスカラーコンボン放逐装置及び付属品等により行う。 3) フロンの回路開設は、監督課に申請書類を提出し承認を受けた後行うこと。 4) 監督課に既存の冷媒の廃棄を手出しすること。 (1) 第1種フロン類回収業者登録書 (2) フローリング回路の記録
4. 油	(フロン系の回路)	1) 冷却の後の修理は、フロン類回収業者登録書により行う。 2) 監督課に既存の冷媒の廃棄を手出しすること。 (1) 第1種フロン類回収業者登録書 (2) フローリング回路の記録
5. 冷 液 の 無		抜き去った冷凍機は、冷凍機本体の主要な部分を穿孔などし、再使用することが不可能な状態にすること。

別表一 機材などの検査又は試験の内容	
機材等	検査又は試験の内容

別表-2 他工事との取り合い

工事内容	本工事 (機械)	別記 (電気)
機器の基礎	・屋内設置	・
	・屋上設置(梁台、アンカーボルトを除く)	・
	・屋外設置(梁台、アンカーボルトを除く)	※
	・梁台、アンカーボルト	※
	⑤スリーブ	※
真鍮スリーブ (梁、床、壁)	⑥補強筋板	・
	⑦スリーブの穴埋め	・
	・箱入れ	※
箱入れ (梁、床、壁)	・補強筋板	・
	・型枠の穴埋め	※
	・下地込み、ボード類の切り込み (吹出口、吸込口、消火栓など)	・
天井、壁の切り込み	・ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む	・
外気取付カラリ		

換気扇の取付枠
・鋼枠

別表一(1) 配管材料

屋 内 一 段	屋 外 露 出	土 中 (壁内)・(屋外)
冷 泡 水 管	<ul style="list-style-type: none"> ・給管用炭素鋼管管壁 (JIS G 3452) ・一段配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) 	<ul style="list-style-type: none"> ・配管用炭素鋼管管壁 (JIS G 3452) ・一段配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448)
冷 却 水 管	<ul style="list-style-type: none"> ・配管用炭素鋼管壁 (JIS G 3452) ・水道用鉄管塗装仕様 ・二重配管用ニッケル管壁 (JWWA-K-1116) ・一段配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) 	<ul style="list-style-type: none"> ・配管用炭素鋼管壁 (JIS G 3452) ・水道用鉄管塗装仕様 ・二重配管用ニッケル管壁 (JWWA-K-1116) ・一段配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448)
ド レ ヌ 管	<ul style="list-style-type: none"> ・給排水用熱膨脹管 (JIS G 3452) ・給排水用ニッケル管 (JIS G 6741) 	<ul style="list-style-type: none"> ・給排水用熱膨脹管 (JIS G 3452) ・其の外にニッケル管 (JIS G 6741)
排 便 管 給 水 管 (給水溝渠)	※主管に準ずる。	※主管に準ずる。
冷 煙 管	<ul style="list-style-type: none"> ・耐熱セラミック (JIS H 3300) ・保溫材 (0mm×0mm) 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐熱セラミック (JIS H 3300) ・新耐熱セラミック (JIS H 3300) ・保温厚 (0.10mm×0.20mm)

注1 空気抜き管は、主管と同じ材料とする。

別表-3-(2) 配管材料

	屋 内 一 般	屋 外 露 出	土 中 (備 内) • (屋 外)
給 水 管	<ul style="list-style-type: none"> ・水道用被覆管セミヒカリラミング ・水道用被覆管セミヒカリラミング 規格 (JIS G 3462) (16t) ○被覆用セミヒカリラミング 規格 (JIS G 6742) (H.P.V) -一般配管用スチール管 (直管式) 規格 (JIS G 3448) -直管用スチール管 (直管式) 規格 (JIS G 3449) -直管用スチール管 (直管式) 規格 (JIS K 6742) (P.V) -防火・隔離用セミヒカリ 	<ul style="list-style-type: none"> ・水道用被覆管セミヒカリラミング 規格 (JIS G 3462) (16t) -一般配管用スチール管 (直管式) 規格 (JIS G 3448) 	<ul style="list-style-type: none"> ・水道用被覆管セミヒカリラミング 規格 (JIS G 3462) (16t) -一般配管用セミヒカリラミング 規格 (JIS G 3448) ○被覆用セミヒカリラミング 規格 (JIS G 6742) (H.P.V) -一般配管用セミヒカリ 規格 (JIS G 3448) -直管用セミヒカリ 規格 (JIS K 6742) (P.V)
汚 水 管	<ul style="list-style-type: none"> ○被覆用セミヒカリ管 規格 (JIS G 6741) -防火・隔離用セミヒカリ管 規格 (JIS G 3433) -防火・隔離用セミヒカリ管 規格 (JIS G 6741) ○被覆用セミヒカリ管 規格 (JIS G 6741) -防火・隔離用セミヒカリ管 規格 (JIS G 3433) 	<ul style="list-style-type: none"> ○被覆用セミヒカリ管 規格 (JIS G 6741) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ニコル管 (JIS A 5303) ○被覆用セミヒカリ管 規格 (JIS G 6741) -防火・隔離用セミヒカリ管 規格 (JIS G 3433)
便 水 管	<ul style="list-style-type: none"> ○被覆用セミヒカリ管 (JIS G 3452) ○被覆用セミヒカリ管 (JIS G 6741) -防火・隔離用セミヒカリ管 規格 (JIS G 3433) -耐熱性被覆管 (JIS G 3452) -耐熱性被覆管 (JIS G 6741) -耐熱性被覆管 (JIS G 3433) -耐熱性被覆管 (JIS G 3452) -耐熱性被覆管 (JIS G 6741) -耐熱性被覆管 (JIS G 3433) 	<ul style="list-style-type: none"> ○被覆用セミヒカリ管 (JIS G 3452) ○被覆用セミヒカリ管 (JIS G 6741) -耐熱性被覆管 (JIS G 3452) -耐熱性被覆管 (JIS G 6741) -耐熱性被覆管 (JIS G 3433) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ニコル管 (JIS A 5303) ○被覆用セミヒカリ管 (JIS G 6741) -耐熱性被覆管 (JIS G 3433)
蒸 气 管	<ul style="list-style-type: none"> ○被覆用セミヒカリ管 (JIS G 3452) ○被覆用セミヒカリ管 (JIS K 6741) -防火・隔離用セミヒカリ管 規格 (JIS G 3433) -耐熱性被覆管 (JIS G 3452) -耐熱性被覆管 (JIS K 6741) -耐熱性被覆管 (JIS G 3433) 	<ul style="list-style-type: none"> ○被覆用セミヒカリ管 (JIS G 3452) ○被覆用セミヒカリ管 (JIS K 6741) -耐熱性被覆管 (JIS G 3452) -耐熱性被覆管 (JIS K 6741) -耐熱性被覆管 (JIS G 3433) 	<ul style="list-style-type: none"> ■耐熱性被覆管 (JIS G 3452) ○被覆用セミヒカリ管 (JIS K 6741) -耐熱性被覆管 (JIS G 3452) -耐熱性被覆管 (JIS K 6741) -耐熱性被覆管 (JIS G 3433)
給 湿 管	<ul style="list-style-type: none"> ■耐熱性被覆管 (JIS H 3300) -耐熱性被覆管 (JIS H 3300) -一般配管用スチール管 (直管式) 規格 (JIS G 3448) ○被覆用セミヒカリ管 (JIS H 3300) -耐熱性被覆管 (JIS H 3300) -耐熱性被覆管 (JIS K 6776) 	<ul style="list-style-type: none"> ■耐熱性被覆管 (JIS H 3300) -耐熱性被覆管 (JIS H 3300) -一般配管用スチール管 (直管式) 規格 (JIS G 3448) ○被覆用セミヒカリ管 (JIS H 3300) -耐熱性被覆管 (JIS H 3300) -耐熱性被覆管 (JIS K 6776) 	<ul style="list-style-type: none"> ■耐熱性被覆管 (JIS H 3300) -耐熱性被覆管 (JIS H 3300) -一般配管用スチール管 (直管式) 規格 (JIS G 3448) ○被覆用セミヒカリ管 (JIS H 3300) -耐熱性被覆管 (JIS H 3300) -耐熱性被覆管 (JIS K 6776)
排 水 管	<ul style="list-style-type: none"> ○被覆用セミヒカリ管 規格 (JIS G 3421) -耐熱性被覆管 (防露管) 規格 (JIS G 3438) ○被覆用セミヒカリ管 規格 (JIS G 3420) -耐熱性被覆管 (防露管) 規格 (JIS G 3438) -耐熱性被覆管 (防露管) 規格 (JIS G 3460) 	<ul style="list-style-type: none"> ○被覆用セミヒカリ管 規格 (JIS G 3421) -耐熱性被覆管 (防露管) 規格 (JIS G 3438) ○被覆用セミヒカリ管 規格 (JIS G 3420) -耐熱性被覆管 (防露管) 規格 (JIS G 3438) -耐熱性被覆管 (防露管) 規格 (JIS G 3460) 	<ul style="list-style-type: none"> WEP 0.41t BSW-S-STG-B (SW) (5t × 10) -耐熱性被覆管 (防露管) 規格 (JIS G 3460)
ガ ス 管	<ul style="list-style-type: none"> ○被覆用セミヒカリ管 規格 (JIS G 3452) -耐熱性被覆管 (JIS G 3469) ○被覆用セミヒカリ管 規格 (JIS G 3450) -耐熱性被覆管 (JIS G 3469) -耐熱性被覆管 (JIS G 3460) 	<ul style="list-style-type: none"> ○被覆用セミヒカリ管 規格 (JIS G 3452) -耐熱性被覆管 (JIS G 3469) ○被覆用セミヒカリ管 規格 (JIS G 3450) -耐熱性被覆管 (JIS G 3469) -耐熱性被覆管 (JIS G 3460) 	<ul style="list-style-type: none"> ○被覆用セミヒカリ管 規格 (JIS G 3452) -耐熱性被覆管 (JIS G 3469) ○被覆用セミヒカリ管 規格 (JIS G 3450) -耐熱性被覆管 (JIS G 3469) -耐熱性被覆管 (JIS G 3460)

注1 空気抜き管は、主管と同じ材料とする。
2 耐火2層管は(財)日本消防設備安全センター「性能認定」マークの貼付されたものを使用する。

※

新設設備に開示し若葉を述べた者	
所在 地	
事 業 所	
氏 名	

空調機器一覽表

換氣機器一覽表

換 気 機 器 一 覧 表

記 号	名 称	仕 样	電 源				数 量	備 考
			w	φ	V	H Z		
F E - 1	天井埋込形換気扇	型 式：低騒音形、本体樹脂製	27.5	1	1 0 0	6 0	3	多目的便所
		風 量：2 0 0 m ³ /h 静 圧：3 0 pa						男子シャワー
		付属品：深型ステンレスパイプード100φ						女子シャワー
F E - 2	天井埋込形換気扇	型 式：低騒音形、本体樹脂製	27.5	1	1 0 0	6 0	2	男便所
		風 量：2 0 0 m ³ /h 静 圧：3 0 pa						女便所
		付属品：深型ステンレスパイプード150φ						
F E - 3	壁 付 換 気 扇	型 式：運転操作式壁付換気扇 250φ 風圧式シャッター	26.5	1	1 0 0	6 0	1	倉庫
		風 量：8 0 0 m ³ /h						
		付属品：ステンレス製ウェザーカバー（防虫網付）						
F E - 4	レ ン ジ フ ロ ー ド	型 式：洗浄レンジフードファン 600幅	84.0	1	1 0 0	6 0	1	湯沸室
		風 量：2 5 0 m ³ /h 静 圧：3 0 pa						
		付属品：深型ステンレスパイプード150φ						
O A - 1	自 然 給 気 口	型 式：給気グリル（消音タイプ）					2	男子更衣室
		風 量：4 5 0 m ³ /h程度 静 圧：1 0 pa						女子更衣室
		付属品：深型ステンレスパイプード200φ（防虫網付）						
O A - 2	自 然 給 気 口	型 式：給気用ステンレスエザーカーボ30cm用					1	倉庫
		風 量：8 0 0 m ³ /h程度 静 圧：2 0 pa						
		付属品：ステンレス製防虫網付						
H E A - 1	全然交換器	型 式：天井埋込ダクト型	2 4 0	1	1 0 0	6 0	1	事務室
		風 量：3 5 0 m ³ /h						
		付属品：深型ステンレスパイプード150φ×2, 給排気グリル150φ, 専用スイッチ						
H E A - 2	全然交換器	型 式：天井埋込ダクト型	2 9 5	1	1 0 0	6 0	2	会議室-1
		風 量：5 0 0 m ³ /h						会議室-2
		付属品：深型ステンレスパイプード200φ×2, 給排気グリル200φ, 専用スイッチ						

凡 例

凡 例		
図 示	名 称	仕 样
—S—	冷媒管	屋内銅管（Lタイプ）+保溫 屋外：銅管（Lタイプ）+ステンレスラッキング
—D—	換気ダクト	スパイラルダクト
—D—	ドレン管	硬質塩化ビニール管（V.P.）
—D—	室内外機器連絡配線	内外機器連絡配線 (V.F.2.0-3C) (冷媒管共巻)

衛 生 器 具 表

衛 生 機 器 表

記号	名称	仕様	電源				数量	備考
			W	Φ	V	Hz		
G H-1	ガス温沸板	型式：屋外堅持型（耐塩害仕様品）			1	100	60	3
		能力：16号						
		付属品：配管カバー（耐塩害仕様品）、リモコンスイッチ、ケーブル、F.J						
W T-1	受水タンク	型式：ステンレス製円筒型タンク 1.00 容量：1.0m ³	—	—	—	—	1	
		寸法：1,150φ x 1,240H						
		附属：点検蓋600φ（鍵付）賃台1000H（ドット）給水管20 給水管40 O.F管32 D管32 通気管40						
F U-1	自動給水ポンプ	型式：インバーター制御給水ポンプ、ステンレス製済巻ポンプ、電動機（全閉型）、2極 能力：3.0L/min x 2.0mH x 6.5m/s 溝別交互起動型	1.1	1	200	60	1	
		附属：屋外計量用ステンレス製カバー付、故障表示及び外部接点付						

凡例

凡 例		
図 示	名 称	仕 様
— — —	給 水 管	耐衝撃性硬質塩化ビニール管 (H I V P)
— · —	中 水 管	耐衝撃性硬質塩化ビニール管 (H I V P)
— I —	給 湯 管	給湯用被覆鋼管
— o —	ガ ス 管	塩化ビニール被覆鋼管
— — —	排 水 管	硬質塩化ビニール管 (V P)
— - -	通 気 管	硬質塩化ビニール管 (V P)
— RD —	雨 水 管	硬質塩化ビニール管 (V P)

借 章

第二、选择题：本大题共 2 小题

TEL (098)-974-
FAX (098)-974-

-5766
-5057

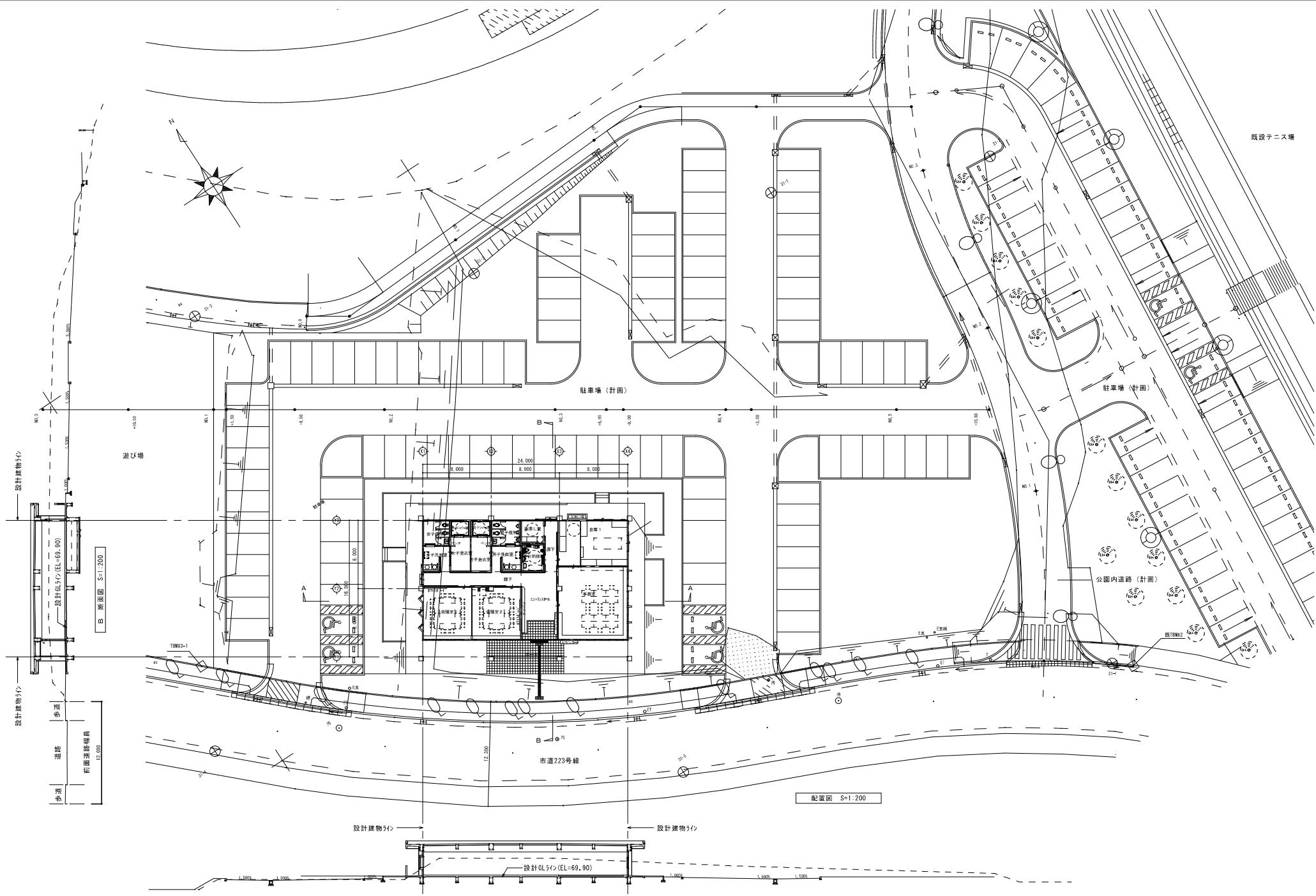
工事名　　月立川運動公園管理棟建設工事(機械)

圆面名 目例 论三推

七
七
七

土器量表 箱 尺 M/S 工事年度

工事年度



備考

施工 沖縄県うるま市字赤道60-1番地

有限公司 沖水

TEL (098-974-5166
FAX (098-974-5037)

工事名 犬志川運動公園管理棟建設工事(機械)

図面名 敷地配置図・断面図

縮尺 S=1/200

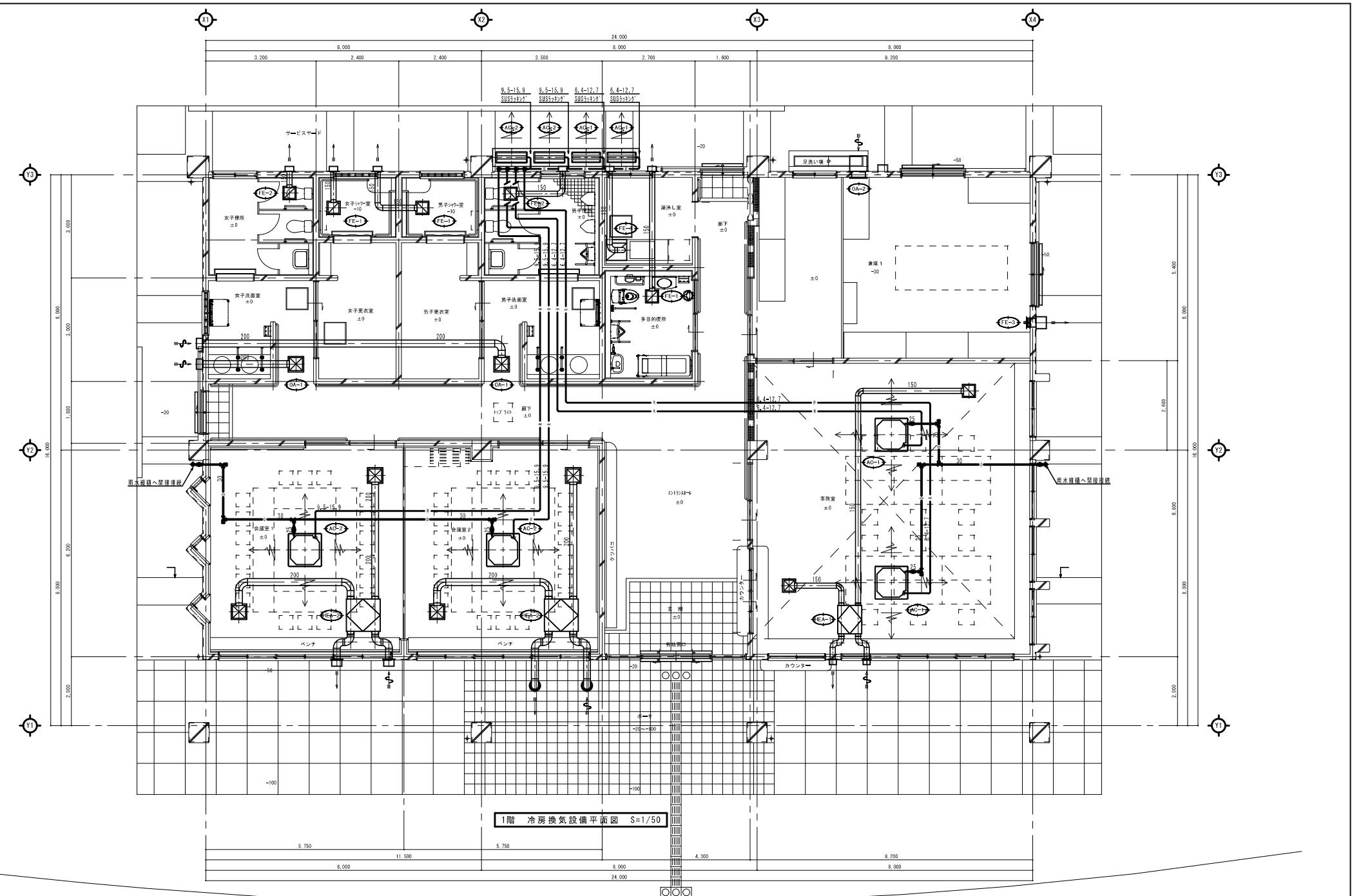
工事年度 平成21年度

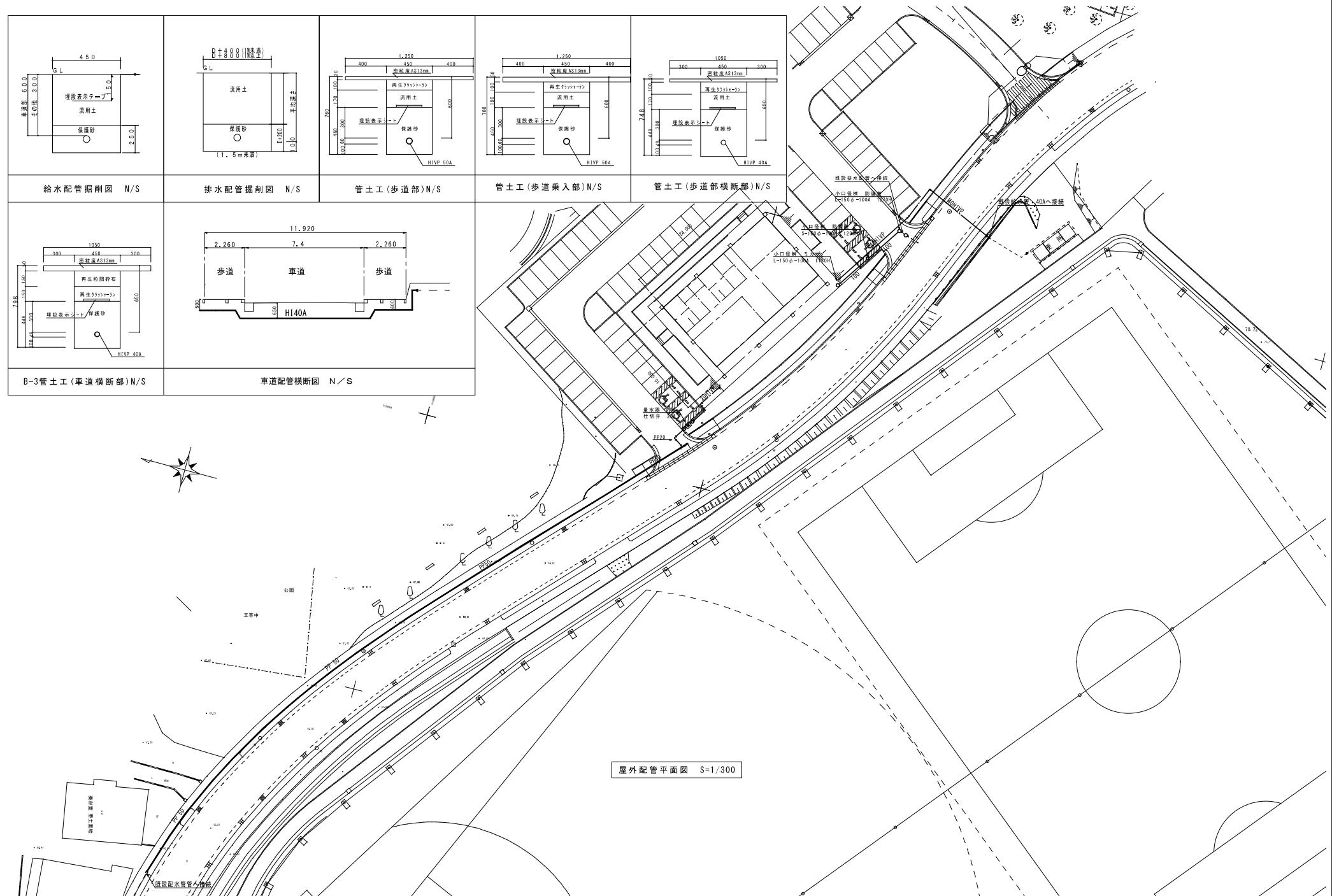
工事場所 うるま市字太田514番地

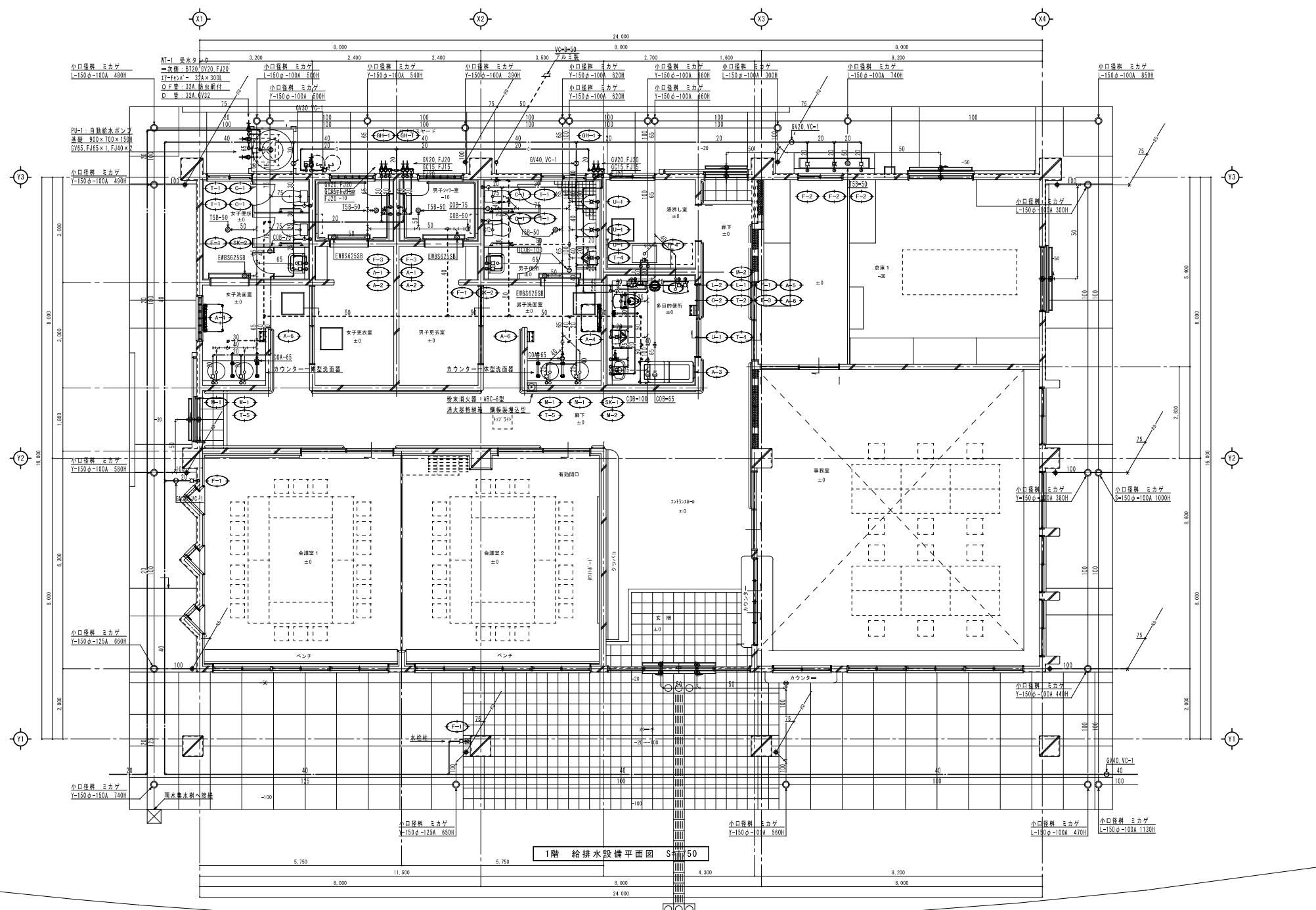
設計年月
21年 11月 30日

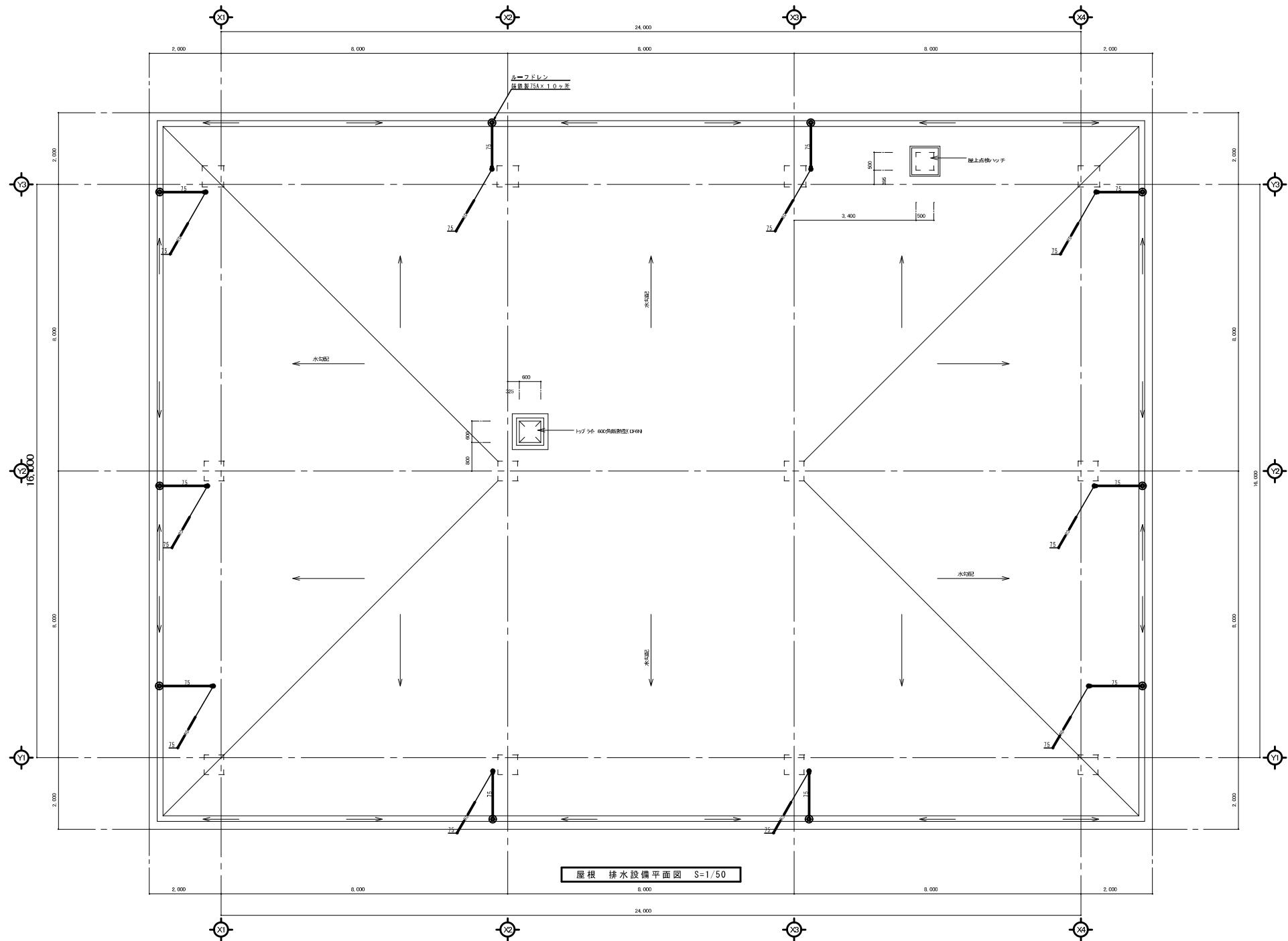
承認
検査
担当
製図

図面番号
M-05









備考	施工 沖縄県うるま市字太田60-1番地
	有限会社 沖水 TEL 0980-974-5788 FAX 0980-974-5557

工事名	具志川運動公園管理棟建設工事(機械)	図面名	屋根 排水設備平面図	縮尺	A1 S=1:50 A3 S=1:100	工事年度 平成21年度
工事場所	うるま市字太田514番地	設計年月日	21年 11月 30日	承認	検査	担当

図面番号
M-09